

Ⅲ 各事業の実施報告

()内は最終予算額

1 受地づくり推進事業

(公益目的事業1)

(1) 観光魅力づくり事業

決算額 668,171円(2,100千円)

ア 「開運八社巡り」の実施

縁起の良い名前を持つ神社八社と、干支に因んだ所縁神社を巡る「開運八社巡り」を県内外に広くPRし、県内周遊を促進した。また、旅行商品化によって多くの誘客につながった。

<旅行商品化>

読売旅行「亥年に行く！因幡伯耆國開運八社巡り日帰り」(鳥取発：平成31年2月)

<商品売上>

開運手ぬぐい(戌年)：2,256枚販売(平成29年12月から平成30年12月)

開運手ぬぐい(亥年)：1,299枚販売(平成30年12月から平成31年3月)

招福良宮巡り福紗：306枚販売(平成30年4月から平成31年3月)

イ 広域観光推進事業

鳥取・岡山両県共同で、観光PRイベントの開催、ドライブマップの作成を実施したほか、高速道路のサービスエリアでパンフレットラックへドライブマップの掲出を行った。

- ・両県共同アンテナショップでの観光PR(平成30年9月1日)
- ・「シティ情報ふくおか(平成31年2月号)」への取材記事掲載
- ・日本経済新聞同梱情報紙「Biz Life Style」への広告掲載(平成31年3月29日)

(2) 出会いふたたび 鳥取の旅づくり事業 決算額 11,550,369円(10,532千円)

「個人・グループ旅行誘致」を中心とした誘客対策として、「魅力的な観光素材の磨き上げ」「旬な情報の適時・的確な提供」「お客様の意見や声の把握」など、顧客視点に立った鳥取の旅を提案できる仕組みづくりを推進した。

ア 体験プログラム情報発信事業

- ・日本最大級のレジャー・体験予約サイト内に本県ブランドページを開設し、本県の体験プログラムと観光情報を一体的に情報発信した。ページ内に、体験取材記事を追加したところ、記事の閲覧数が増加し、多くの消費者の目に触れることができた。
- ・体験申込に直結することを目的としたリスティング広告(Googleなどの検索結果ページに検索されたキーワードに対して広告を掲載)やFacebook広告を実施し、広告を実施した4～9月の前年同数の予約数を比べると、814件増加しており、うち広告で獲得した件数が714件であることから、広告の効果により体験予約数の増加が認められる結果となった。波及効果も含めて地域消費増加につながった。

イ 観光パスポート発行事業

- ・観光パスポート「トリパス」を発行し、本県観光地を周遊する楽しみ方等を紹介する特集ページ、観光施設をお得に利用できる割引特典クーポン、応募によって賞品が当たるスタンプラリーを掲載し、宿泊、周遊、再来訪等の促進を図った。
- ・旅行会社のパンフレット等にも掲載された。

【春旅・夏旅キャンペーン】

期間：平成30年4月1日(日)～9月30日(日)

宣伝物：トリパス(A6・44頁)10万部、チラシ3万部、各種POP(ポスター等)

優待特典協力施設数：179施設

《スタンプラリー応募状況》

宿泊券やご当地詰合せセットが当たるスタンプラリー 応募数：2,289通

【秋旅・冬旅キャンペーン】

期間：平成30年10月1日(月)～平成31年3月31日(日)

宣伝物：トリパス(A6・44頁)8.5万部、チラシ3万部、各種POP(ポスター等)

優待特典協力施設：174施設

《スタンプラリー応募状況》

鳥取和牛や地酒などご当地特産品が当たるスタンプラリー 応募数：1,591通

- ・旅行商品企画として、JTBのトリパス付きプランや日本旅行参加者特典として活用されたほか、ANAセールスやHIS等の旅行社パンフレットでも紹介された。

- ・インスタグラムフォト投稿キャンペーン（12/1～2/28）を実施し、トリパスの認知度を高め、周遊を促した。 応募数：764件

(3) 教育旅行誘致促進事業 決算額 11,104,462円(10,891千円)

教育旅行誘致コーディネーターを事務局本部に配置して、県内における農家民泊や体験メニュー等受入態勢の充実に取り組むとともに、関西地区を中心に教育旅行の誘致活動を展開した。

また、関西地区にある旅行会社の教育旅行担当者や学校関係者を対象に、本県の教育旅行に係る最新情報を説明し、県内観光関係者と旅行会社との商談の場を設けるとともに、本県に招き視察会を実施した。

さらに、教育旅行の誘致を促進するため、本県で宿泊を伴う教育旅行を実施する県外の学校に対して、その経費の一部を支援した。

ア 教育旅行誘致活動

- 関西地区における教育旅行キャラバン
 - ・開催日：平成30年6月29日（金）
 - ・参加者：協議会員14名、事務局3名 合計17名
 - ・訪問先：大阪市、寝屋川市内の中学校を15校訪問
- 情報発信機能の強化

農家民泊、体験アクティビティのパンフレットを教育旅行取扱い旅行会社へ定期的に配布。更に教育旅行に関する情報を毎月1回以上配信（とっとり観光ニュース：鳥取西道路開通、令和関連等 136登録アドレス）。毎月1回の定期訪問時も併せて実施した。

イ 教育旅行情報説明会

- 中部地区における教育旅行情報説明会（島根県との合同開催）
 - ・開催日：平成30年8月6日（月）
 - ・参加者：学校関係者、旅行会社、教育旅行関係団体、地元関係者等 45名
 - ・実施内容：誘致促進協議会概要説明、体験施設等のプレゼンテーション、商談会

ウ 現地視察会

- 学校（教職員）、旅行会社を対象とした下見・現地研修会

順	旅行会社・支店名	実施日	人数	担当者	視察先（主なところ）
1	鳥取県教育旅行実踏会	8/7～9	4	田中	砂丘(アケビ`イイ)、民泊
2	東武トップツアーズ大阪教育旅行支店	11/20～21	5	木村	民泊、はわい温泉、コナン
3	近畿日本ツリスト大阪教育旅行支店	12/22～23	3	田中	民泊、砂丘、はわい温泉

※上記のほかに、次年度に対する修学旅行の下見を17回実施

エ 教育旅行誘致支援補助金

- 「とっとりスタイルエコツーリズム」教育旅行誘致促進事業
 - ・事業趣旨：本県で宿泊を伴う教育旅行を行う学校を対象とした宿泊費助成。
 - ・支援内容：宿泊延べ人数×1,000円を補助（1団体上限30万円）
 - ・支援実績：対象学校数及び対象人数・27校、延3,846名

《参考》近年の県内への修学旅行催行実績及び予定

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
5校	6校	9校	10校	6校	14校

オ その他

(ア) 「鳥取県教育旅行誘致促進協議会」活動

A 鳥取県教育旅行誘致促進協議会総会

- ・開催日時：平成30年6月13日（水）午後1時30分～午後3時00分
- ・場所：県庁第2庁舎32会議室
- ・参加者：地元関係者 33名、鳥取県 2名、市町村 5名、事務局他 6名
- ・開催内容：平成29年度活動報告・決算報告、平成30年度活動計画・予算計画、教育旅行説明会・教育旅行キャラバン計画、会則の改正について、実踏会の実施について等を協議・報告

B 鳥取県教育旅行誘致促進協議会 合同部会

- ・開催日時：平成30年6月13日（水）午後1時30分～午後3時00分
- ・場 所：県庁第2庁舎32会議室
- ・参加者：協議会員33名（体験学習部会10名、誘致部会5名、民泊部会4名）
事務局他 6名 合計39名
- ・開催内容：鳥取県民泊運営要綱及び民泊事業のガイドラインの最終案について
鳥取県観光交流局観光戦略課 井嶋泰雄 課長補佐より詳細を説明

C 県外視察研修

民泊・家業体験について、一層のレベルアップを図るため、他県事例研究等による研修を計画募集したが参加申し込みが2名であったため実施を中止した。

- ・開催期間：平成31年3月7日（木）
- ・視 察 先：かのさと体験観光協会（岡山県新見市）
- ・視察内容：暮らし体験（みち草ハイク、白菜キムチ作り、ケイビング）、意見交換会

(イ) 県内広域連携への支援

A 教育旅行受入会議

関西から来鳥し県内で農家民泊する中学校への取組として、各地域間の調整や各種課題の解決を図るため「教育旅行受入会議」を開催。

- ・開催日：
第1回 平成30年4月18日（水） 於：佐治
第2回 平成30年5月22日（火） 於：佐治
第3回 平成30年7月27日（金） 於：県庁
第4回 平成30年12月7日（金） 於：関金
第5回 平成31年2月20日（水） 於：佐治
- ・参加者：五しの里さじ地域協議会、倉吉市体験型教育旅行誘致協議会、智頭町民泊協議会、北栄グリーンツーリズム研究会、事務局

B 教育旅行受入会議

旅行会社に対するアクティビティの取扱いを事業者間で統一性を持たせる調整会議を開催。

- ・開催日：
第1回 平成31年1月19日（土） 於：渚交流館
第2回 平成31年1月31日（木） 於：鳥取砂丘ビジターセンター

カ 参考情報（所得格差拡大等の要因による関西地区中学校における修学旅行方面変更）

「旅行代金の抑制」の中で、関西地区では、修学旅行方面の見直しが図られ、コーディネーターをはじめ関係者の誘致プロモーション等によって、大阪府から平成30年度に中学校6校1,067名が来県、令和元年度は大阪府から12校が決定している。

(4) 観光人材育成・顕彰事業

決算額 273,518円（900千円）

ア 観光まちづくり人材育成研修事業

観光まちづくり人材育成研修（(公社)日本観光振興協会助成事業）

- ・テーマ：おもてなしの心を伝える接客研修 ～お客様から選ばれるために～
- ・開催日：平成31年1月25日（金）
- ・開催場所：エキパル倉吉 多目的ホール（倉吉市上井195）
- ・講師：ANAビジネスソリューション株式会社 専属講師 新開 千恵 氏
- ・受講者：55名
- ・概要：宿泊施設や観光施設など、観光の現場に携わる方々を対象にして、日々のおもてなし業務をステップアップし、モチベーションアップに繋がる研修を実施した。

イ 観光人材育成支援事業

- ・支援団体（第2種会員）：1団体（(一社)鳥取市観光コンベンション協会）
- ・事業名：鳥取市観光大学ブラッシュアップ研修

ウ 観光事業功労者及び優良従業員表彰

- ・観光事業優良従業員の業績を評価し、6月20日の通常総会において表彰を行った。
表彰者数：優良従業員 10人

2 誘客対策強化事業

(公益目的事業2)

(1) 県外旅行会社対策事業

決算額 15,488,632円(15,500千円)

首都圏、中部地区、関西地区、中四国・九州地区に観光プロモーターを配置して、次の事業に取り組んだ。

ア 販売促進活動事業

4名の観光プロモーターが、旅行会社の企画造成部門、店頭販売部門等を日常的に訪問し、本県の基本的な観光情報、新たな旬の情報を提供するなど、旅行商品造成と販売促進のプロモーション活動を積極的に展開した。

平成30年度は大山開山1300年祭、JRデスティネーションキャンペーン、JTB「日本の旬 瀬戸内・山陰」などの大型キャンペーンがあり、イベント出展や旅行会社へのプロモーションを一層強化した。

各圏域の動向を会員に提供し、会員による魅力ある観光地づくりに役立てていただくとともに、会員からの要請に応じて同行セールスにも積極的に対応した。

観光プロモーターの持っている旅行業界で蓄積された知識や経験、幅広い人脈などが、会員の日々の観光振興活動にしっかり活かされるよう、引き続き県内各観光地との緊密な協力関係を構築した。(活動詳細は後出)

イ 観光情報説明会開催事業

中部地区、関西地区、広島地区を対象に、旅行商品の造成に有効な情報を伝えるための説明会を開催した。関西地区、広島地区においては、春季及び秋季に2回説明会を開催した。

中部地区でも、引き続き秋季説明会を開催し、地元からの情報発信を行うとともに、地元関係者が積極的に参加できる「商談会」を実施し、旅行会社との接点を増やした。これによって、各地域素材や情報を直接提供できる機会を提供でき、関係者からも実績が上がっているという評価を得た。

[観光情報説明会開催状況]

順	タイトル	開催日	旅行会社社数	旅行会社人数	鳥取県観光関係者数	備考
1	春季鳥取県観光情報説明会 中部	5/ 8	20	27	39	
2	春季鳥取県観光情報説明会 関西	5/ 9	38	61	62	関西本部共催
3	春季鳥取県観光情報説明会 広島	5/17	11	24	39	
4	秋季鳥取県観光情報説明会 中部	8/29	17	27	42	
5	秋季鳥取県観光情報説明会 関西	8/30	22	44	52	
6	秋季鳥取県観光情報説明会 広島	9/11	10	22	37	

ウ 旅行会社招致事業

[現地研修の状況]

順	旅行会社・支店名	実施日	人数	担当者	視察先(主なところ)	備考
1	首都圏旅行会社	10/ 3- 5	4	大堀	三朝・倉吉・境港・米子	※1
2	三越伊勢丹旅行	12/10-11	1	大堀	鳥取・砂丘・三朝・河原・若桜	
3	旅行会社現地研修旅行	2/13-14	54	木村	境港・皆生・大山・倉吉・砂丘・八頭	※2
4	JTB中部国内仕入商品事業部	3/13-15	3	川角	岩美・砂丘・倉吉・米子・境港・大山	

※1 昨年までは、鳥取県観光施設連絡協議会と協同で首都圏観光情報説明会を開催していたが、今年度は連盟単独での開催となったため、首都圏旅行会社現地研修にあわせ、三朝温泉と皆生温泉で説明会を行った。

※2 昨年までは、鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合と協同で開催していたが、今年度は連盟単独での開催となった。JTB協定旅館ホテル連盟より、研修費用の一部を支援いただいた。

平成30年度はJRデスティネーションキャンペーン・JTB「日本の旬 瀬戸内・山陰」キャンペーンがあり、各社で積極的に研修を行っていたため、当連盟は、資料提供などの支援を行った。また、各旅行社スタッフの下見の同行については、積極的に実施した。

(2) 旅行商品支援事業 決算額 35,900,000円(45,500千円)

ア バス旅行商品支援事業

区 分	宿 泊	日 帰 り
補助の条件	◇1団体20名以上で催行の県外出発のバスツアー ◇連盟作成の素材集より観光・立寄り2か所以上、食事1か所以上の採択 ◇宿泊は、月～木曜日の県内宿泊（祝祭日の前日を除く） ◇日帰りは、土・日曜日、祝祭日を除く ◇2泊以上の場合は、同条件を泊数分追加	
補助期間	◇申請 平成30年2月1日～平成31年2月15日 ◇催行 平成30年4月1日出発～平成31年3月16日帰着	
補助内容	◇バス1台当たり30千円 ◇1事業所当たり600千円上限	◇バス1台当たり15千円 ◇1事業所当たり300千円上限
事業費	56,000千円(当初:36,000千円+緊急:20,000千円)	
執行額	36,810千円	8,085千円
	44,895千円	
実施結果	報告件数:432件 バス台数:723台 利用実績:23,357人 催行率:68.7%	報告件数:149件 バス台数:308台 利用実績:11,517人 催行率:70.4%

※台数は、延台数。宿泊の交付額は1泊当たり。

※平成30年9月1日出発分～平成31年3月16日帰着分については観光需要回復緊急支援事業分が追加になり、宿泊バス1台当たり60千円、日帰りバス1台当たり30千円を補助。

イ 旅行商品造成支援事業

補助の条件	◇鳥取県素材の露出・情報ページの掲出に関わるパンフレット作成 ◇販促目的の現地研修、店頭販促費等
補助期間	◇平成30年4月1日～平成31年3月20日 ※モニターツアーは、平成30年4月～平成31年3月出発対象
補助内容	◇1事業所 1案件当たり500千円を上限
事業費	9,500千円
執行額	9,500千円
実施状況	37件
主な案件	2018年度パーソナリップ山陽山陰、出雲大社・鳥取砂丘・足立美術館と巖島神社 ・原爆ドーム3日間、旅コレクション山陽山陰四国、日本の旬国立公園、2019年度パーソナリップ山陽山陰、星取県・ジビエモニターツアー

(3) 緊急時観光振興対策措置事業 決算額 23,055,000円(25,000千円)

ア バス旅行商品支援事業（観光需要回復緊急支援事業分）

上記バス旅行商品支援事業に記載

イ 旅行商品造成支援事業（観光需要回復緊急支援事業分）

補助の条件	◇鳥取県素材の露出・情報ページをパンフレット等掲載し、広く消費者に知らせることが出来る事業等
補助期間	◇平成30年7月12日～平成31年1月31日 ※モニターツアーは、平成30年7月～平成31年1月出発対象
補助内容	◇1事業所 1案件当たり500千円を上限
事業費	5,000千円
執行額	4,560千円
実施状況	12件
主な案件	MBS「せやねん」タイアップ鳥取キャンペーン、年末懇親謝恩ツアー三朝温泉2日間、両備バスフレンズパック12・1月、鳥取が誇る冬の味覚!15品のカニづくし!

(1) 鳥取きなんせキャンペーン事業 決算額 12,673,842円(18,148千円)

ア 観光PRイベント開催事業

自動車道整備や航空路線増便など、観光を取り巻く環境の変化に応じ、県外の商業施設や高速道路サービスエリア、観光関連イベント等で観光PRを行った。

- ・中国自動車道SA(加西)、米子自動車道SA(蒜山)での観光PR(年5回実施)
- ・マツダスタジアムでの観光PR(平成30年4月6日(金)、DeNA戦)

<県外旅行会社店頭キャンペーン>

各圏域のショッピングセンターイベント広場や旅行会社店頭などで、パンフレット配布、ゆるキャラ撮影会や缶バッジ作成などで鳥取県観光PRを実施。

順	タイトル(会場名等)	実施日	担当者	実施事項
1	近畿日本ツーリストイオン鶴見緑地	6/3	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、砂絵体験
2	日本旅行Tis大阪	6/16-17	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、成約者抽選
3	JTB提携平和堂旅行センター 大垣アル・プラザ	7/14	川角	サンプリング、砂絵体験、砂の瓶詰体験
4	JTBイオンモール堺北花田	7/29	楠井	サンプリング、砂絵体験、砂の瓶詰体験
5	日本旅行Tis大阪	8/11-12	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、成約者抽選
6	JTBイオンモール幕張新都心	10/28	大堀	サンプリング、ゆるキャラ、ゲーム大会
7	JTBトラベルゲート神戸三宮	11/11	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、成約者抽選
8	近畿日本ツーリストイオン伊丹昆陽	12/9	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、成約者抽選
9	日本旅行Tis大阪	1/26-27	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、成約者抽選

<大型ショッピングセンター等でのキャンペーン>

集客力の大きい都市近郊の大型ショッピングセンターやイベント会場などにおいて、着ぐるみとのジャンケン大会・記念撮影会、抽選会などを実施。観光パンフレット、ノベルティなどを配布し、鳥取県への誘客、旬の情報提供等PR活動を行った。

順	タイトル(会場名等)	実施日	担当者	実施事項(主なもの)
1	ひろしまフラワーフェスティバル	5/3-5	木村	サンプリング、ゆるキャラ、砂絵体験
2	第6回夏山フェスタ(名古屋)	6/23-24	川角	県内の山岳案内、サンプリング
3	東京シティアイ	9/21-22	大堀	サンプリング、ゆるキャラ、蟹セミナー
4	名鉄 泊りハイキングフェスタ	3/1	川角	サンプリング、説明、茶菓子提供

イ 蟹取県ウエルカニキャンペーンの実施

県内宿泊施設に宿泊された方に「鳥取のカニ」をプレゼントする「蟹取県ウエルカニキャンペーン」を実施することで、秋・冬季の観光誘客を図った。

- ・実施期間：平成30年9月1日～平成31年2月28日
- ・実施内容

A 応募ハガキとWEB応募の受付・集約

- ・応募ハガキとWEB応募の受付整理
 - ⇒ 応募総数：16,759件(昨年度実績：30,928件)
 - ※対前年比54.2%

- ・アンケート記載内容の集計及び分析

B 賞品の購入・発送

- ・応募はがきとWEB応募から、毎月100名の当選者を決定
- ・賞品である「鳥取の旬のカニ」を会員から購入して発送

C 情報発信等

- ・県内外でのキャンペーンの周知及び機運醸成のため、広告出稿やPR活動を実施
新日本海新聞社が発行する「日本海新聞」「週刊大阪日日新聞」の「鳥取のカニ」特集に広告を掲載(平成30年10月～平成31年1月、各紙2回)
- ・観光ガイドマップ及び観光パスポート「トリパス」に、キャンペーン告知を掲載し、県内外で配布
- ・大手旅行会社の店舗や大型ショッピングセンター、都市部のイベントなどでPR
- ・加西サービスエリア、蒜山サービスエリアでPR(9月、11月)

ウ ゆっくりしてごしない鳥取キャンペーン

- ・実施目的：県内での連泊促進を図るとともに県内における消費額の拡大を図る。
- ・実施期間：平成30年4月1日～9月30日／10月1日～平成31年3月31日
- ・対象会社：ANAセールス、日本旅行、近畿日本ツーリスト、HISなど
- ・実施内容：県内で連泊宿泊された方に、鳥取県内産直店や道の駅、鳥取県観光施設連絡協議会加盟店（除外店舗あり）で利用できる1,000円分のクーポン券を旅行申込旅行会社から提供。
- ・実施結果：209件、209千円分の利用実績あり。
- ・その他：鳥取県観光客誘致促進協議会が利用額の一部を負担

(2) 山陰デスティネーションキャンペーン事業 決算額5,070,634円(6,000千円)

「Nostalgic San'in わすれがたき山陰」をテーマとして、山陰両県とJRが連携して開催する「山陰デスティネーションキャンペーン」(山陰DC)を受けて、山陰デスティネーションキャンペーン協議会に対して負担金を拠出したほか、観光プロモーターによる販売促進活動を実施するなど、旅行会社に対する観光PRを実施した。

(3) 緊急時観光振興対策措置事業 決算額 8,881,600円(15,000千円)

ア 平成30年7月豪雨対策

平成30年7月豪雨による全国的な観光入込客の減が懸念される中、OTA(Online Travel Agency)と連携した旅行商品販売促進事業を実施し、観光マインドの惹起を図った。

- ・るるぶトラベル(『夏休み満喫クーポン in 鳥取』10,000円×100枚発行)
- ・楽天トラベル(『夏の鳥取県へGO!』10,000円×400枚発行)

イ 松葉がにの漁獲制限対策

松葉がにの漁獲制限が全国メディアで大きく報道され、宿泊施設のキャンセルや新規予約の落ち込みが懸念される中、OTA(Online Travel Agency)と連携した旅行商品販売促進事業を実施し、観光マインドの惹起を図った。

- ・るるぶトラベル(『ラストスパート「蟹取県」～春までの特別キャンペーン～』10,000円×200枚発行)
- ・dトラベル(『ラストスパート「蟹取県」～春までの特別キャンペーン～』10,000円×100枚発行)

4 情報発信・宣伝事業 (公益目的事業2)

(1) 観光情報発信事業 決算額 10,955,774円(22,729千円)

ア 観光ガイドマップの作成

トリパス、蟹取県ウェルカニキャンペーン、大山開山1300年祭等、時季に併せて広告を掲載し、計2回増刷した。(作成部数：10万部)

イ 観光素材集の作成

旅行会社向けの営業用ツールとして、観光素材やイベント情報等を掲載した「観光素材集」を作成した。

- ・「平成30年度版鳥取県観光素材集」(5,000部)
- ・「2019年度版鳥取県観光素材集・食事編」(3,000部)

ウ ホームページ、SNSでの情報発信

県内の観光情報を連盟ホームページサイト内のイベント情報、参加者募集、おすすめ情報の欄に随時掲出するほか、公式アカウントを有するフェイスブック、ツイッターで随時発信した。平成30年6月からインスタグラムの公式アカウントを開設した。

- ・ホームページ：ページビュー数 約266万PV(平成30年度年間実績)
- ・フェイスブック：フォロワー数 5,678人(令和元年5月17日時点)
- ・ツイッター：フォロワー数 1,299人(令和元年5月17日時点)
- ・インスタグラム：フォロワー数 2,252人(令和元年5月17日時点)

エ「とっとり観光ニュース」の発行

県内の旬の観光情報を写真と記事で紹介する「とっとり観光ニュース」を毎月1回、特別号2回の計14回発行し、県外旅行社・マスコミ向けに送付（紙、メール等での送付箇所計1,200か所）したほか、県外プロモーター（首都圏、中部、関西、中四国九州）が営業の際に活用した。

オ パブリシティによる情報発信

特産品提供によりパブリシティを実施した。

読売新聞夕刊（平成30年8月23日）「二十世紀梨プレゼント」応募数：2,861通

(2) とっとり観光親善大使活動事業 決算額 66,030円(1,400千円)

県内外の各種PRイベントや旅行会社訪問等に「とっとり観光親善大使」を派遣し、本県の観光PRを行った。

- ・平成30年度の派遣実績：派遣回数34回（延35人）
- ・とっとり観光親善大使

氏名(ふりがな)	職業
佐伯 諒子(さえき りょうこ)	会社員
市谷 沙織(いちたに さおり)	会社員
倉本 真梨菜(くらもと まりな)	会社員

※任期：平成29年8月19日から令和元年10月31日

- ・研修会の実施：県内観光地視察（1回）を実施

(3) 連盟推薦みやげ品PR事業 決算額 63,859円(200千円)

本県の観光土産品の内容・評価を高めるため、推薦観光みやげ品の指定を行った。

- ・審査会：平成30年10月29日（月）
- ・審査員：鳥取県観光みやげ品協議会長 河越行夫氏ほか6名
- ・場所：ホテルセントパレス倉吉
- ・指定品目：7品目、17点（認定期間は2年間）

(4) フィルムコミッション事業 決算額 5,953,340円(4,914千円)

「鳥取県フィルムコミッション」の専任職員1名を配置し（平成26年4月～）、映画、テレビドラマ、テレビ番組、CM、プロモーションビデオ、広告写真などのロケーション撮影が円滑に行われるよう、支援業務や誘致活動を行った。

- ・ロケ候補地の情報収集と情報提供
- ・撮影ボランティアエキストラなどの募集、手配の協力
- ・国、県、市町村、警察など公的機関への必要な許可申請手続きの案内、協力
- ・宿泊施設、飲食店、弁当、各種資器材業者、ロケバス車両等の紹介
- ・ロケハン、ロケーション撮影の同行
- ・ホームページの開設運営、SNSによる支援作品の情報発信
- ・全国ロケ地フェアへの参加、ジャパンFCへの加入等を通じたロケーション撮影の誘致
- ・支援作品を通じた、観光客誘致活動

<ロケ支援等の状況>

区分	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
問い合わせ件数	91	98	112	111	61
放送、公開、出版された件数	47	49	61	58	36

<主な実績>

- ・映画：「男はつらいよ50 おかえり、寅さん（仮）」
- ・TV：日本テレビ「遠くへ行きたい ～大林素子が鳥取へ！湖上の温泉？驚きいっぱい日本海の初夏～」
- ・PV：NHK「8Kタイムラプス紀行 ～鳥取砂丘のいろどり～」
- ・CM：アシックス「ターサー35周年」

以上各種媒体への露出により、本県観光魅力の発信を実現し、誘客につながった。

5 会員等との連携事業 (相互扶助等事業)

(1) 他団体との連携事業 決算額 432,400円(500千円)

鳥取県観光施設連絡協議会へ助成を行うとともに、観光関連機関との意見交換を行った。

(2) 地域別戦略会議開催事業 決算額 33,200円(200千円)

各地域のDMO・観光協会・行政関係者が一堂に集い、県内の各地域が抱える課題等について幅広く議論し、課題解決に向けた意見交換や情報共有のための戦略会議を実施した。

○春の部(東部:6月1日(金)、中部:5月24日(木)※、西部:5月29日(火))

- (内容)
- ・観光市場の現況
 - ・各観光協会の取組
 - ・旅行商品造成に向けた旅行社向け方策について
 - ・意見交換
 - ・県からの情報提供 など

※中部については、(一社)鳥取中部観光推進機構と共催で実施。

○秋の部(東部:9月5日(水)、中部:9月13日(木)、西部:9月7日(金))

- (内容)
- ・市町村・観光協会の取組、課題について
 - ・観光連盟事業の取組状況と来年度事業について
 - ・意見交換
 - ・県からの情報提供 など

※西部地区においては、観光事業者や旅行エージェント等も加えた観光関係者による意見交換会も開催した。(11月15日(木))

6 収益事業

(1) 観光関連商品作成事業 決算額 471,526円(1,000千円)

収益事業として、開運八社巡りの成年開運手ぬぐいと観光名刺台紙の作成を行った。

- ・成年開運手ぬぐい 3,000枚
- ・観光名刺台紙 4,000枚

7 会議

連盟の総会、理事会および監査を次のとおり実施した。

(1) 総会

ア 通常総会

- 開催日 平成30年6月20日(水)
場所 ホテルセントパレス倉吉
議事
- ・平成29年度事業報告について
 - ・平成29年度収支決算について
 - ・役員を選任について
- 報告事項
- ・平成30年度補正予算について

イ 臨時総会

- 開催日 平成31年3月22日(金)
場所 ホテルセントパレス倉吉
議事
- 役員を選任について
- 報告事項
- ・平成30年度補正予算について
 - ・平成31年度事業計画について
 - ・平成31年度収支予算について

(2) 理事会

ア 通常理事会(第1回)

- 開催日 平成30年6月5日(火)
場所 倉吉シティホテル

- 議 事
- ・平成29年度事業報告について
 - ・平成29年度収支決算について
 - ・平成30年度予算の補正について
 - ・就業規則の改正について
 - ・有期職員就業規則の改正について
 - ・平成30年度観光事業功労者及び観光事業優良従業員表彰について
 - ・会員の入会について
 - ・通常総会の招集について
- 協議事項
- ・役員を選任について

イ 臨時理事会（第1回）

- 開催日 平成30年7月31日（火）
- 場 所 倉吉シティホテル
- 議 事
- ・平成30年7月豪雨の風評被害対策について
 - ・平成30年度補正予算について
 - ・会員の入退会について

ウ 臨時理事会（第2回）

- 開催日 平成30年9月20日（木）
- 場 所 ホテルセントパレス倉吉
- 議 事
- ・平成30年度補正予算について
- 職務執行状況報告
- 協議事項
- ・平成31年度予算編成に向けた意見交換

エ 臨時理事会（第3回）

- 開催日 平成31年1月15日（火）
- 場 所 倉吉シティホテル
- 議 事
- ・平成30年度補正予算について
 - ・就業規則の改正について
 - ・有期職員就業規則の改正について
 - ・個人情報取扱規程の制定について
 - ・慶弔規程の制定について
 - ・後援名義使用承認基準の制定について
 - ・会員の入会について
- 協議事項
- ・平成31年度事業計画に向けた意見交換

オ 通常理事会（第2回）

- 開催日 平成31年3月5日（火）
- 場 所 倉吉シティホテル
- 議 事
- ・平成30年度補正予算について
 - ・平成31年度事業計画について
 - ・平成31年度収支予算について
 - ・臨時総会の招集について
- 協議事項
- ・役員を選任について
- 職務執行状況報告

(3) 監 査

- 実施日 平成30年5月21日（月）
- 場 所 鳥取市、琴浦町
- 事 項 平成29年度事業実施状況及び収支決算状況